

英語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
【話すこと[やり取り]】【話すこと[発表]】【書くこと】学習した言語材料を用いて、事実や自分の考えなどを話したり書いたりすることができる技能を身に付ける。	【話すこと[やり取り]】日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を基に、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手立て	手立ての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話すこと[やり取り]】: 相槌を打つことや即興で自分の考えを伝えることがスムーズにいかないという課題がある。ア、イ</li> <li>【書くこと】: 話の中で使っている英単語の音とつづり(文字)が対応していないことがある。ア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中で有効活用できるフレーズを、タブレットとしてインプットさせる。また、発音が正しくできているか、自然なアウトプットができているかの確認として、タブレットに録音させ、確認させる。</li> <li>・単語テストや単元テストを実施したり、タブレットのデジタル教科書を活用させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週2~3回程度</li> <li>・テスト: 各 Unit 終了時、デジタル教科書: 本文学習時</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【書くこと】に苦手意識を抱える生徒が多く、学習した内容を定着させることに課題がある。ア</li> <li>英語で聞かれたことに答えることはできるが、相手に質問するや相槌を打つ等、会話を継続させる力を身に付ける必要がある。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【話すこと】の活動では、活用できる表現や相槌の仕方を具体的に提示し、会話を継続する力を高める。また、言語活動は易しいものから段階的に取り入れ、【話すこと】と【書くこと】を関連付けて指導し、生徒が意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1~2程度</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話すこと[やり取り]】や【書くこと】において、既習事項と新しく学習する内容を活用してより詳しく、相手に伝わる表現を工夫することに課題がある。ア</li> <li>短く聞かれたことについて答えることはできるが、相手を説得したり、わかりやすくするために順序立てて述べたり、一言付け足して答えることに課題がある。イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を話す機会を増やすとともに、具体的な会話例を提示したり、テーマを与え、制限時間まで会話を継続したりするなど、各自が会話の振り返りを行うことで、【話すこと[やり取り]】の力を高める。</li> <li>・授業の【話すこと】の活動で使った表現を書いたり自由英作文ノートを活用したりするなどして「書く」ことの力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回程度</li> <li>・月1~3回程度</li> </ul>	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について

全年

- ・学習者用デジタル教科書を活用し、自分に合った学習方法を選択させる。【重点: 個別】
- ・ロイロノートを活用し、課題を提出したり、それを共有せたりすることで「対話的な学び」を促す。【重点: 協働】

第1学年: パフォーマンステストの前に類似課題に取り組ませ、タブレットに録音させる。【重

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

○第1学年: 振り返りシートとタブレットの活用

- ・各 Unit の開始時と Goal(パフォーマンステスト)の前時に、パフォーマンステストの類似課題に取り組ませ、それをタブレット(ロイロノート)に録音させる。録音を聞き、自ら中間評価を行わせる。

第2学年: 振り返りシートの活用

点:個別】

第2学年:オンライン英会話の実施。音読の際等に、タブレットに録音し、自分の発音を確認させる。【重点:個別】【重点:個別】

第3学年:オンライン英会話の実施。音読の際等に、タブレットに録音し、自分の発音を確認させる。【重点:個別】

・ロイロノートを使って、単元の見通しを立てさせ、各 Part で学んだ内容や会話練習を通して生徒自身が学んだことをその都度振り返り、達成度を確認する。

第3学年:英語レポートの活用

・単元末に単元の課題をまとめ、内容を振り返ったり、定期テストやパフォーマンステストの際、次のテストに向けて目標を立てたりする。